## 社会資本総合整備計画 事後評価書

江五兵	<b>个沁口走佣</b>		于区																		
計画の名称	川西町における	快適で活	5力のある暮ら	しの実現(『	防災・安全)																
計画の期間	令和02年度	~	令和06年度	(5年間)													重点配约	分対象の部	核当		
交付対象	川西町																				
計画の目標	ストックマネジ	メント討	十画に倣い、下2	水道設備の記	計画的な維持	持管理を図る	5.														
全体事業費	(百万円)	合計(	A + B + C + D	))		836 A		836 B	1	C	) C	0 D	0	効果促進	事業費の	割合C/	( A + B ·	+ C + D )	)	0	%

		計画	 画の成果目標(定量的打	旨標)						
			定量的指標の現況値及び目標値							
番号	定量的指標の定	当初現況値	中間目標値	最終目標値						
						R2当初	R4末	R6末		
1	令和6年度末までに、ストックマネジメント計画に基づいた下水道人孔蓋の改築工事を	0%から100%に向上させる。								
	ストックマネジメント計画に基づく下水道人孔蓋改築工事を実施する。					0%	62%	100%		
	下水道人孔蓋改築工事実施率(%)=改築工事実施済人孔蓋(基)/ 改築対象人孔蓋	(基)								
2	令和6年度末までに、ストックマネジメント計画に基づいた下水道管路施設の点検調査	を0%から100%に向上させる	5.							
	ストックマネジメント計画に基づく下水道管路施設点検業務を実施する。					0%	45%	100%		
	下水道管路施設点検業務実施率(%)=点検業務実施済延長(m)/ R2~R6点検実	施総延長								
		Г								
	備考等	個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	0	定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む (	○ 地域再生計画を含む -		

甚幹事業 (大)	番号			交付	直接	电光本	4番 Dil 4	4手ロil つ	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	<del>**</del> **		(年度)	全体事業費	費用	個別施設訂
	田つ	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2 	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R02 R0	8 R04	R05 R06	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果															•
		備考															
K道事業		下水道	一般	川西町	直接	川西町	管渠(	改築	ストックマネジメント計	下水道人孔蓋改築工事実施	川西町				810		策定済
	A07-001						汚水)		画 (1-A1-1)								
	•		1			I		1									1
		下水道	一般	川西町	直接	川西町	管渠(	改築	ストックマネジメント計	下水道管路施設点検業務実施	川西町				26		策定済
	A07-002						汚水)		画 (1-A1-2)								
				1			1	I									
											小計				836		
											合計				836		Τ
	-																
				1													
				I			1										
	-																
	-																
			Τ	I			T										
			1		1	I	1	I									T

1 案件番号: 0000690410

	事後評価
 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
川西町内部にて評価を実施	令和7年9月
	ψημη <del></del>
	公表の方法
	川西町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
	ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の改築により、良好な下水道サービス提供の維持に寄与した。 ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の点検により、良好な下水道サービス提供の維持に寄与した。
	ストラフ、イングント計画に至って下が追応改め点候により、反対な下が追り、ころ促供の維持に引引した。
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	
文刊対象事業の効素の光現状が	
定量的指標以外の交付対象事業の	
効果の発現状況(必要に応じて記述)	
 特記事項(今後の方針等)	
, ,	  新及び施設点検を実施していくことで、持続的な下水道サービスの提供を図っていく。
フ俊も引き続き、名作ルルはの以来は	利及び他故思快を実施していてことで、特続的な下小道サービスの提供を図りていて。

案件番号: 0000690410

	標値の達成	式 <del>化</del> 汽								
	指標(略称)									
番号	拍標(略	(本)								
	目標値/	<b>実績</b> 値	目標値と実績値に差が出た要因							
1	最 終 目標値	100%	更新施設の優先度を踏まえながら、予算の平準化などを考慮し、一部の施設を後年度へ繰り越したため、目標値を達成することができなかっ た。							
	最 終 実績値	84%								
2	最 終 目標値	100%	適切に事業を執行したことから、最終目標値に達した。							
	最 終 実績値	100%								
	I									

1